

令和元年 11月 8日(金)

第2回非常変災対応訓練 ～ 緊急地震速報を利用した避難訓練 ～

緊急地震速報を活用した非常変災対応訓練が8日に行われました。報知音（案内放送）を聞いた生徒たちは直ちに机の下にもぐり、頭部を保護しました。その後、大きな揺れが収まり避難できるようになったという放送で、第1体育館へ避難しました。クラス毎に体育委員が点呼し、担任・学年主任・教頭・校長へと安否確認報告して避難が完了しました。今日の訓練には松山中央消防署から4名お越しいただき、ご指導いただきました。避難完了後、署員の方から「私語も少なく、迅速に避難行動ができていて、非常に良かったと思います。非常変災時には、しっかりと情報を把握した上で避難行動をしてください。」と講評をいただきました。

松工防災クラブは、生徒の防災士資格の取得、電気科の非常用電源装置の製作、情報電子科の災害救助ロボットの製作、工業化学科の簡易浄水器の製作、建築科の防災かまどによる炊き出しなど、これまでの活動についての発表を行いました。

本部長講評として、西岡誠校長から「不測の事態が起こった場合、自分で判断するということが大事になります。非常変災が、いつ起こっても対応できるよう、地域や家族などの小さな繋がりでお話し合うことも大切になります。」との講評がありました。



避難放送の指示に従い、避難する生徒たち



避難後の安否確認報告



松工防災クラブの活動発表



消防署員による指導



本部長講評(西岡校長)